

平成31年2月 27 日

池田町町長 甕 聖章 様

事業所名 いけだデイサービスセンター小島館  
管理者名 田中 佐和子 印

いけだデイサービスセンター小島館 運営推進会議開催報告書

開催日時	平成31年2月21日(木) 18時~19時00分	
開催場所	いけだデイサービスセンター小島館 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事業所内</span> ) ・外 )	
サービス区分	地域密着型通所介護事業所	
出席者の状況	委員(職種)	委員数(5)名 / 出席(4)名
	A(利用者家族)	D(知見を有するもの)
	B(民生委員)	( )
	C(地域包括)	( )
	( )	( )
	職員(役職)	高山 明男(社協局長)
	丸山 出美(小島館主任)	( )
議題	1 運営状況について 2 介護保険外事業について	
報告事項	1 利用状況 2 職員の状況 3 介護中アクシデント 等	

## 会 議 録

### 1 開会

### 2 あいさつ 池田町社協高山局長

### 3 現状報告

(1) 運営状況について 事務局より資料に沿って報告

(2) 介護保険外の事業について 事務局より資料に沿って報告

### 4 質疑応答・意見交換等

A 委員： 利用して2年目になるんですが、嫌がることなく利用させて頂いてありがたくおもってます。

親子なので口うるさく言ってしまう、反発してしまうこともある。

小島の皆さまは上手に接していただきありがたく思っている。

ときどき小島の物を持ち帰って来てしまって自分は申し訳なく思ってしまうが大丈夫と声をかけて頂くとありがたい。

D 委員： この前のなないろカフェの時限られたスペースのなか、一回しか打ち合わせしかしてないのに皆さん個々しっかり動いていて上手に回っていた。ボランティアさんの力が素晴らしい。

木曾の方の社協も少しずつ閉鎖や縮小していくなか職員も確保がなかなかできない。デイサービスを利用したくても利用するところがなくて施設に入れてしまう方たちが増えて来ている。

たかちゃんちでも職員の募集をかけても一年かかってやっと1人来た…という状況で施設があっても職員の確保ができない。

この先自宅で見たい方など、どうしていくのか不安に思う。

B 委員： 段階世代なのでこれからの介護の現状がすごく不安。

職員が集まらないのはお給料が少ないからで、介護職をやりがらないのはすごくわかる。こんなことでは駄目だと

いつも憤りを感じている。自分の母を自宅でみていたが、

とても大変な思いをした自分の耳もストレスで聞こえなくなり、

眠れない日々が続いたやっと施設入所できたが、

介護施設で膀胱炎になりとても切ない思いをした。

会 議 録	
	あづみ病院で見て頂きとても助かった。
	お父さんは高姫で見ていただき自宅に最期までいられた。
	介護は大変な事なのに介護職員のお給料が少ないことが一番の問題だ！一般企業に比べて月の給料が7万円違う。男性職員は結婚して家庭を持ってない。
D委員：	処遇改善の手続きが大変でなかなか給料に反映されない。
事務局長 高山：	支援員の募集をかけたら、3人も来た。
	介護員や、ヘルパーとなると募集をかけても全く来ない。
C委員長：	地域に密着している、デイサービスは必要なのに職員が来ない。
D委員：	すごく矛盾していることで施設の方にも言ったことがあるが、皆さん一番混乱の時期がご家族の大変な時期なのに利用者さんが動かれると施設では預かってくれない。1日でも2日でもショートステイとか少しでも預かってもらえれば家族は救われる。そういったこともできないのも、人手不足で動かれる方は施設の方もみてもらえない。
B委員：	人手不足で預かれない施設の状況もわかる。それもこれも介護員の給料が安いから人が集まらない。国の予算は使う所が違う。
D委員：	地域で連携して皆さんを支えていこう！というのに、自宅で見ないといけないのは国がってる事と外れている気がする。
C委員長：	皆さん介護職員の方たちは本当に一生懸命やってくださっていて本当にびっくりしてしまう。
B委員：	昨日の社協主催の講演会、とても感激した。成年後見制度をととても具体的で当事者の方がお話していて、とても分かりやすかった。社協の方たちもあそこまで親身になってやってくださってることにびっくりした。社協の方にも頭が下がる。
事務局 高山：	社協が金銭管理をしていてそこから両親の認知症が進んできたり、立て続けに両親が亡くなったりでそこから成年後見制度に

会 議 録

移行していった経緯がある。

B委員： あの講演会を聞いて福祉というのはこうゆうものなんだなあ  
素晴らしいなと感じた。

D委員： 両親が亡くなった時に自分は施設に行かなくてはいけないのかなあ  
など講演会で話していた人が悩んでいた。

C委員長： 仕事上いろんな施設に行く機会があるけれど、施設によって雰囲気  
が全然違う。小島館さんは入った瞬間からとても落ち着く感じが  
する。とても暖かい感じがする。

今年はインフルエンザがとても社協内でも流行ってしまいましたが  
来年のインフルエンザの対策としてどのようなことを考えて  
いらっしゃいますか？

事務局 田中： 誰かが発症した時点で職員、すべての利用者様に呼び掛けて  
インフルエンザの方が出ましたがそれでも良ければご利用くだ  
さい、と状況を包み隠さず話し早めに対応する。  
他の事業所も併用して使っている利用者様もいらっしゃるので  
他の事業所にも速やかに連絡をする。

B委員： 2、3日事業所を閉鎖すると状況が落ち着く。

事務局 田中： 小島館では換気や加湿器を使ったり、椅子や手すりを塩素で  
拭いたり、エタノールで消毒している。  
小島館ではインフルエンザの方は1名出たがそれ以上に広まる  
ことはなかった。

C委員長： 次回の開催は半年後くらいになると思うんですが、また皆さま  
頑張っていたきたいと思います。

事務局 田中： 次回の開催は5月か6月になりますが、よろしくお願  
い  
します。